

雌 阿 寒 岳

札 幌 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

雌阿寒岳では、9 月 26 日 20 時頃から、体に感じない振幅の小さな火山性地震が増加しています。火山性微動の発生はなく、噴煙の様子や地殻変動には特に変化はみられません。今後の火山活動の推移に注意する必要がありますが、現在、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・地震・微動活動の状況（図 1～4、図 8、表 1）

2008 年 9 月 26 日 20 時頃から、体に感じない振幅の小さな火山性地震が増加しています。地震の日回数は、26 日 48 回、27 日 12 時まで 316 回（暫定値）で、多い状態が続いています（図 1）。一日あたりの地震回数が 200 回を超えたのは、2008 年 1 月 10 日（471 回）以来です。震源は概ねポンマチネシリ火口の浅い所に分布しており、これまでと比べて特に変化はありません。

なお、火山性微動は観測されていません。

・噴煙の状況（図 5、図 8）

遠望カメラによる観測では、地震が増え始めた 26 日 20 時頃から 27 日 05 時 40 分頃までは雲のため確認できませんでしたが、それ以降、噴煙の高さは 100m 以下で推移しており、噴煙活動は静穏な状況が続いています。

・地殻変動（図 6～7）

GPS 連続観測では火山活動によると考えられる変動は観測されませんでした。

※資料は気象庁のほか、北海道、北海道立地質研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものである。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

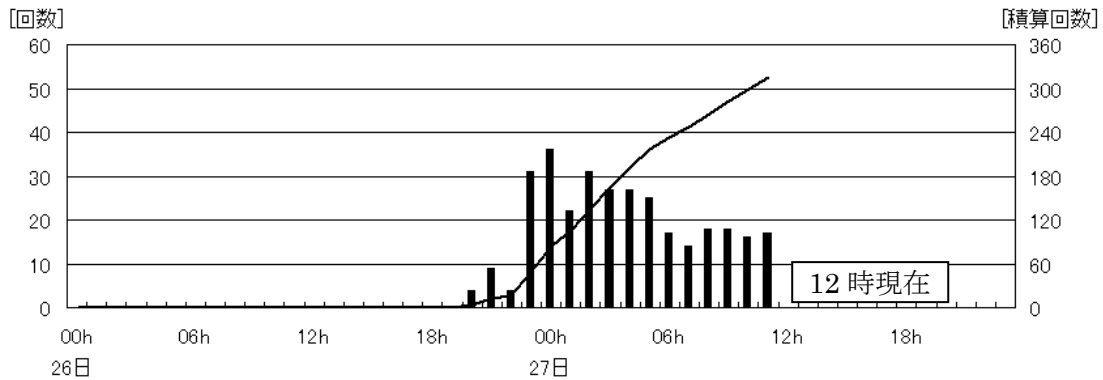


図 1 雌阿寒岳 火山性地震の時間別回数（2008 年 9 月 26 日～9 月 27 日）

表 1 雌阿寒岳 火山性地震・微動の月回数（B 点）

2007～2008 年	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
地震回数	32	23	26	1056	58	23	20	28	20	29	54	376
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

* 9 月の地震回数は 27 日 12 時まで

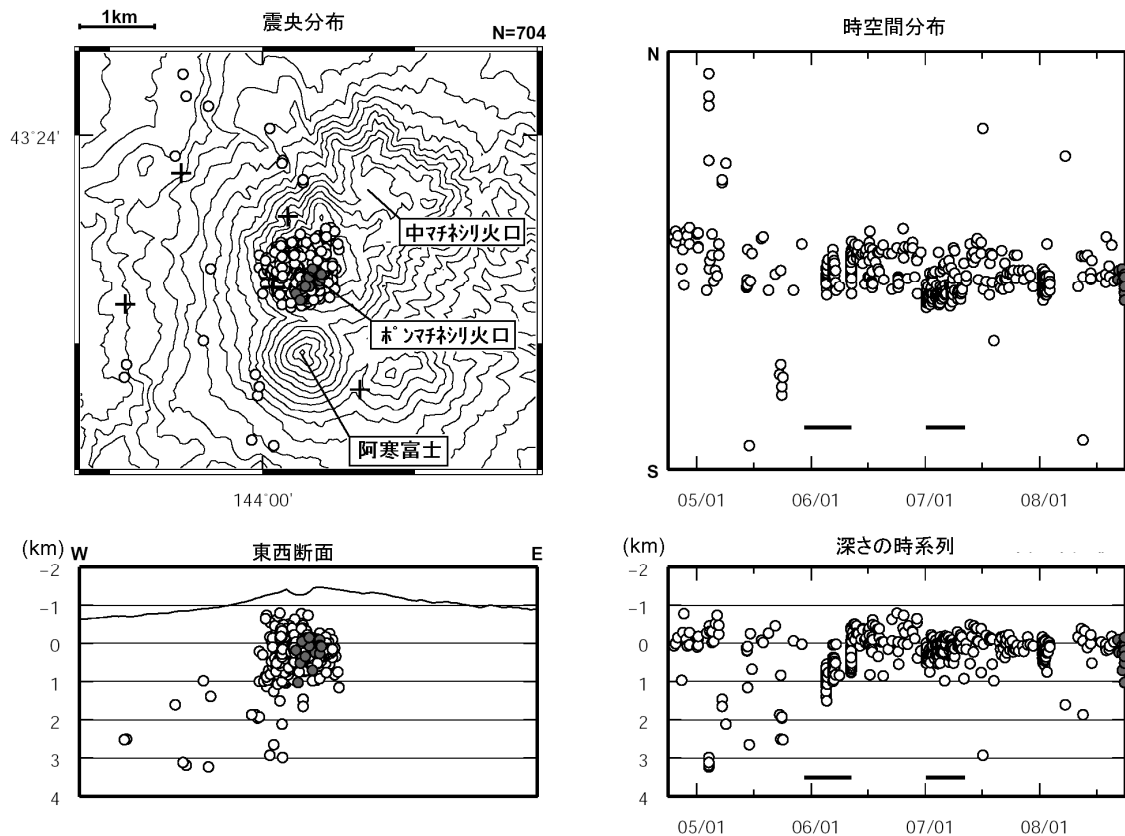


図 2 雌阿寒岳 火山性地震の震源分布（2004 年 10 月 7 日～2008 年 9 月 27 日 12 時現在）
（丸印：震源、+印：地震観測点）

●：2008 年 9 月 1 日～2008 年 9 月 27 日の震源

○：2004 年 10 月 1 日～2008 年 8 月 31 日の震源

表示期間中、2005 年 12 月 11 日から 2006 年 5 月 9 日及び 2007 年 1 月 3 日から 2007 年 5 月 5 日にかけて、一部観測点欠測のため震源決定数が減少し、精度も低下しています。

・震源の多くはポンマチネシリ火口直下の浅い所（山頂から深さ 1～3 km 付近）に分布しています。2008 年 9 月 26 日以降の震源も概ねこの領域内に分布しています。

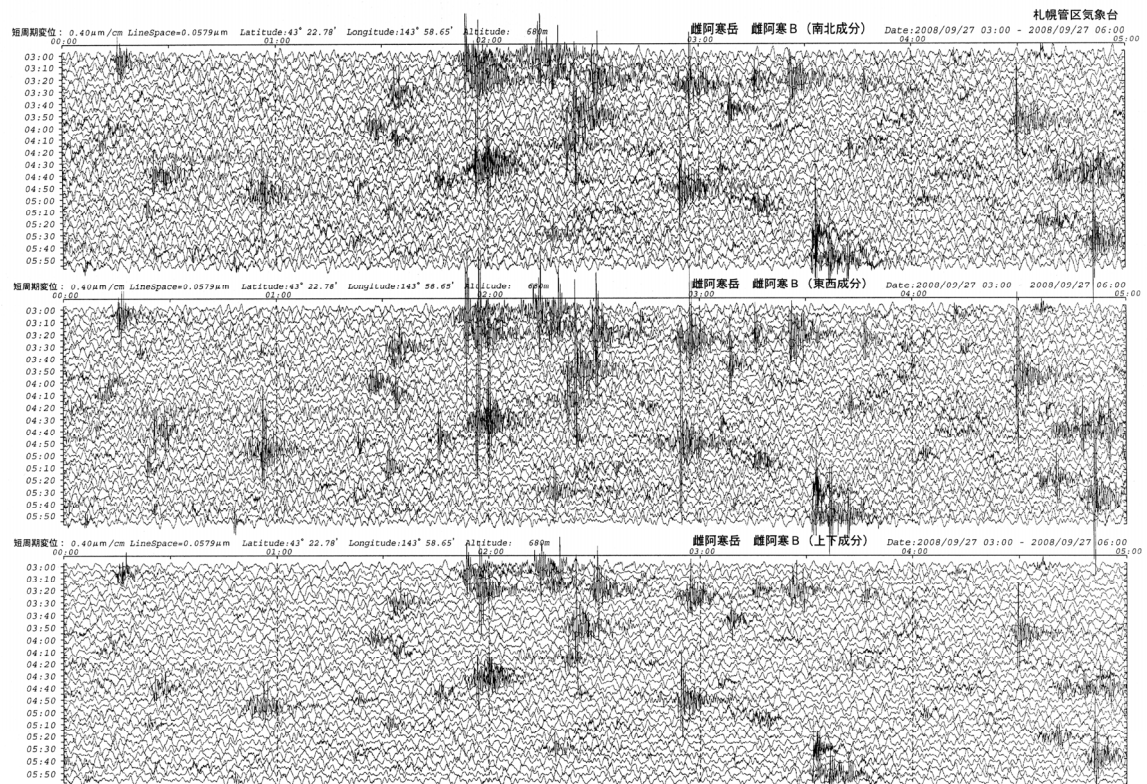


図 3 雌阿寒岳 B 点の震動波形（2008 年 9 月 27 日 03 時 00 分～06 時 00 分）

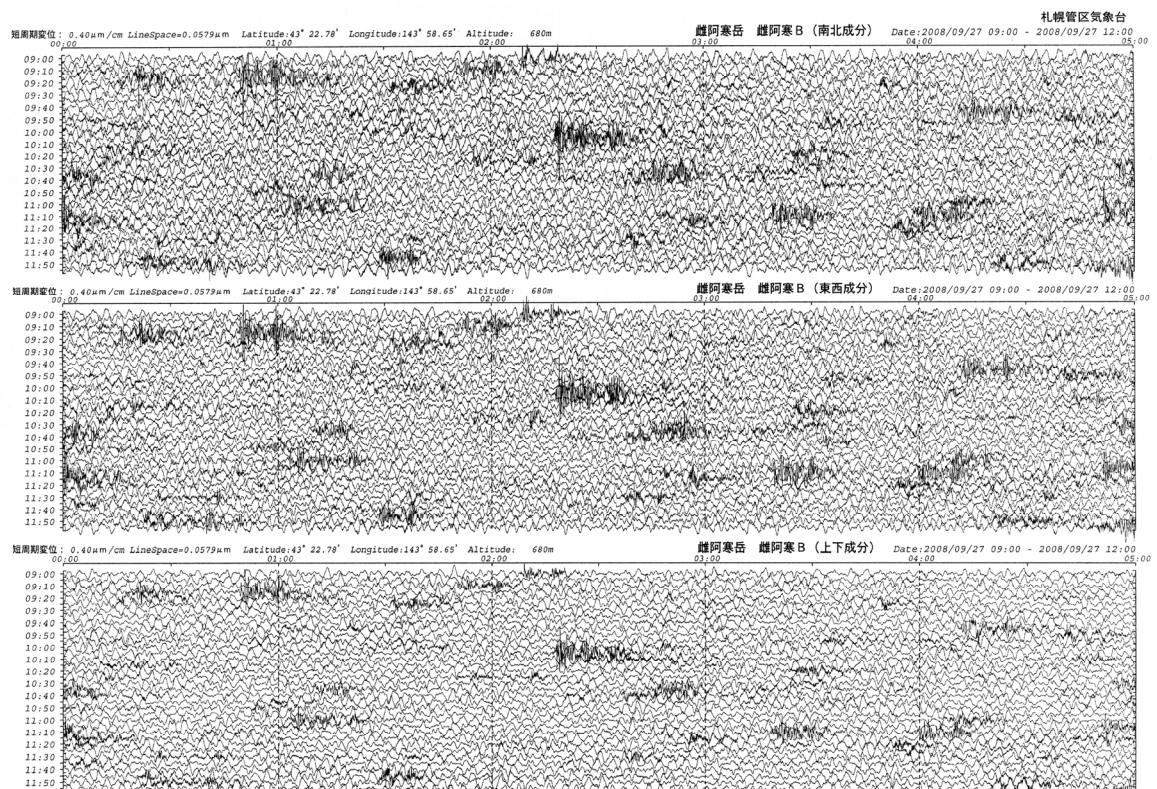


図 4 雌阿寒岳 B 点の震動波形（2008 年 9 月 27 日 09 時 00 分～12 時 00 分）

- ・ 2008 年 9 月 12 時現在では、26 日 23 時～27 日 06 時と比較すると、地震活動はやや落ち着いています。



図 5 雌阿寒岳 上徹別の遠望カメラで見た雌阿寒岳の状況
(2008 年 9 月 27 日 07 時 02 分頃撮影)

- ・遠望カメラによる観測では、地震が増え始めた 26 日 20 時頃から 27 日 05 時 40 分頃までは雲のため確認できませんでしたが、それ以降、噴煙の高さは 100m 以下で推移しており、噴煙活動は静穏な状況が続いています。

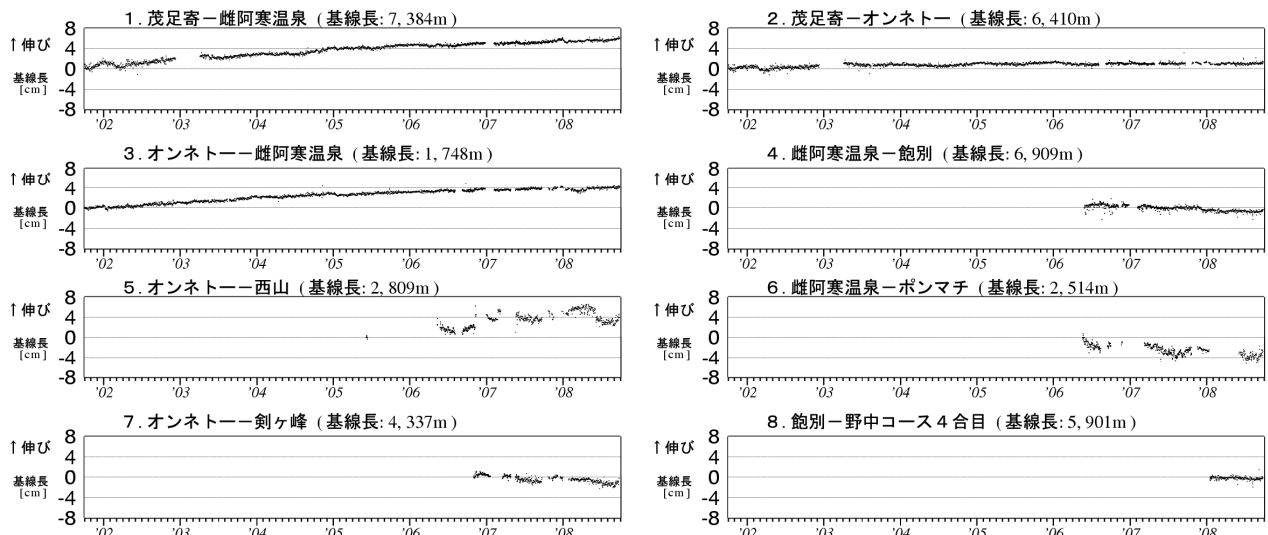


図 6 ※ 雌阿寒岳 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 10 月 1 日～2008 年 9 月 26 日）

上段の基線長変化 1～7 は、図 7 の観測点配置図の基線番号①～⑦に対応しています。

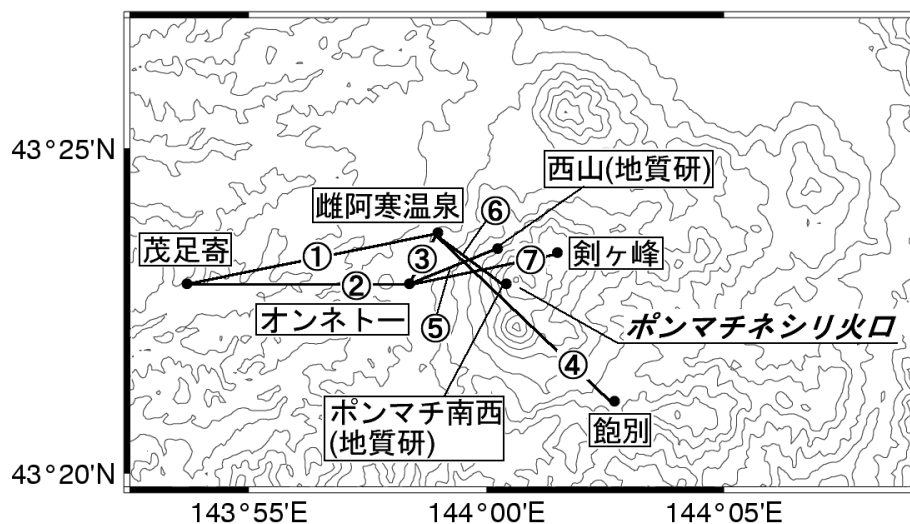


図 7 雌阿寒岳 GPS 連続観測点配置図

○雌阿寒岳の火山活動経過

図 8 に 1995 年以降の雌阿寒岳の火山活動経過を示します。

ボンマチネシリ 96-1 火口の熱活動や噴煙活動は 2000 年以降徐々に低下し、その傾向は 2003 年以降明瞭になっています。2006 年 3 月 21 日のごく小さな噴火後もこの状況に変化はみられていません。

地震活動は、2006 年 3 月 21 日のごく小さな噴火の前後は活発な状態で推移していました。その後は、2007 年 1 月～3 月、2008 年 1 月～2 月に一時的に地震が増加した他は、低調な状態で推移していました。

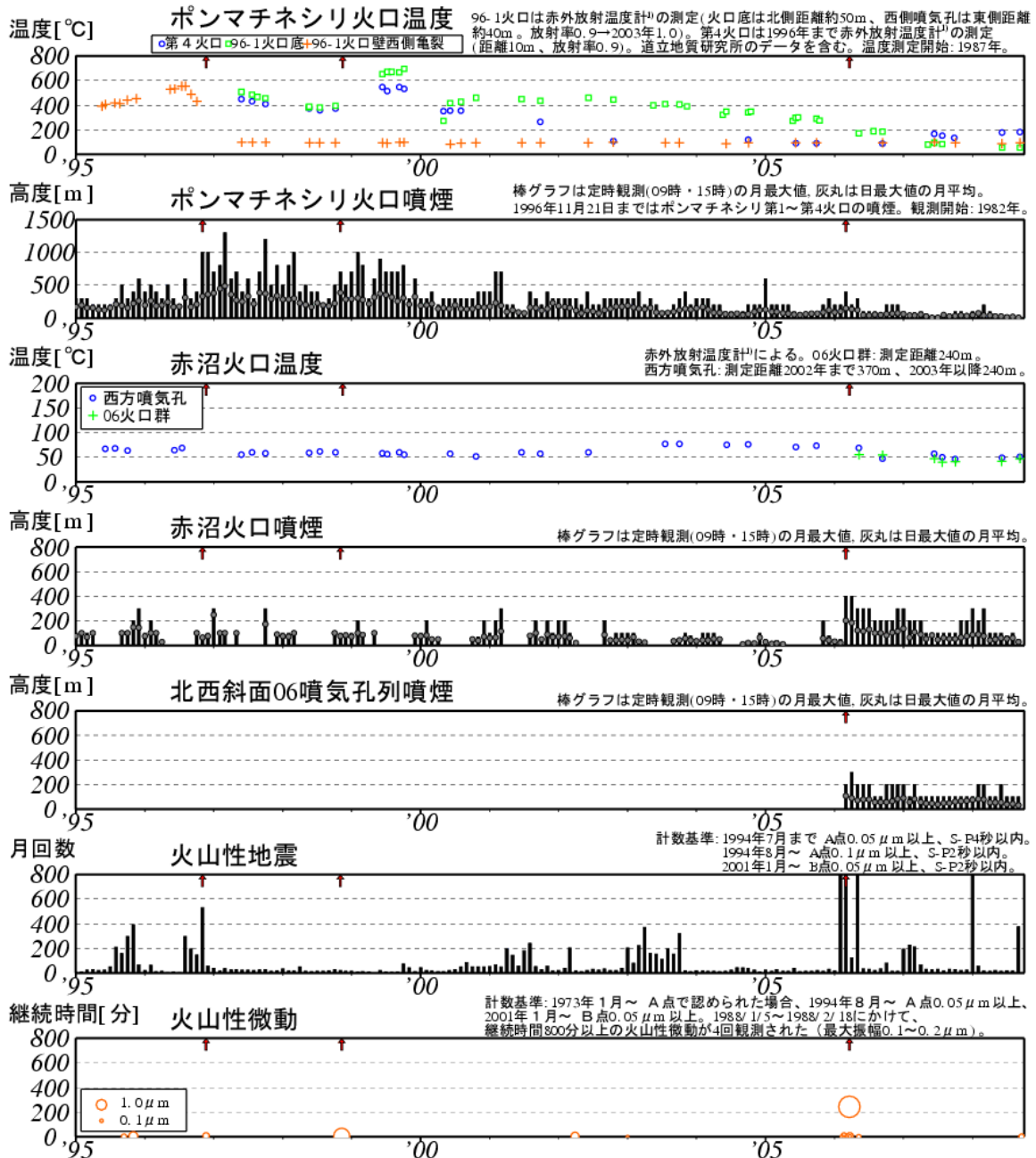
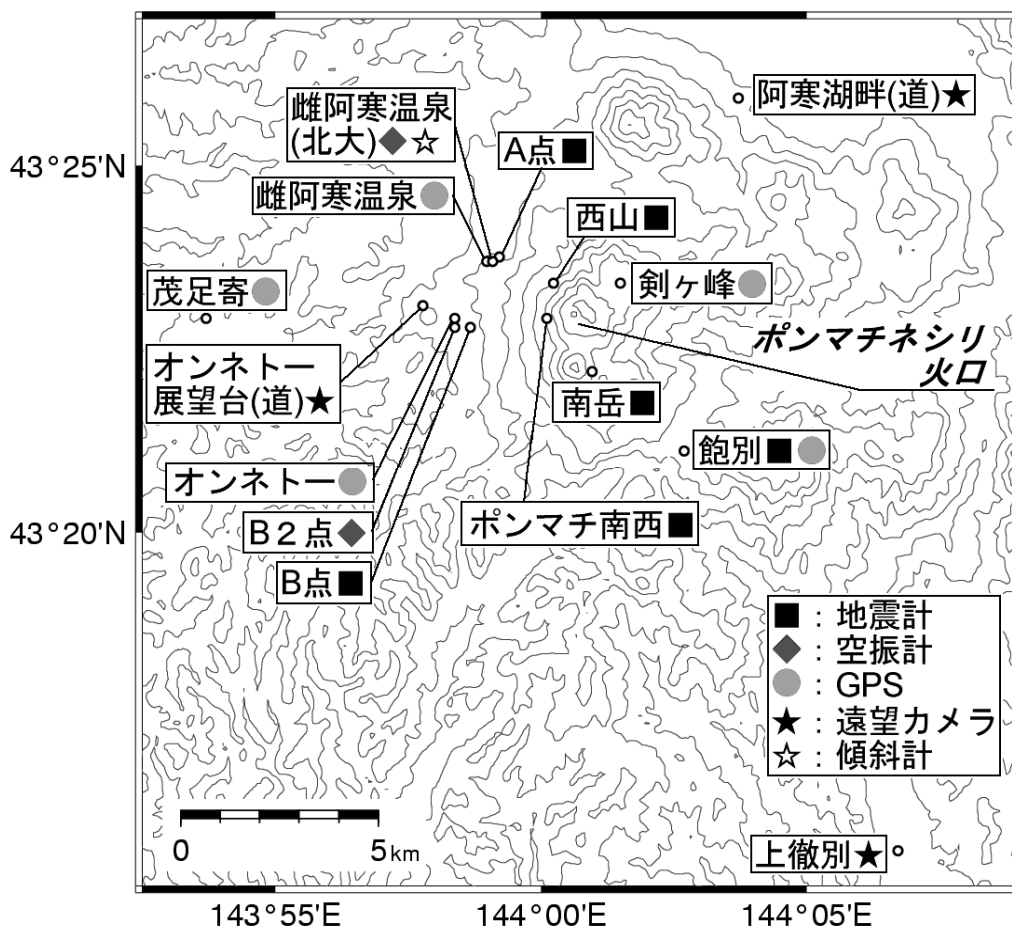


図 8※ 雌阿寒岳の火山活動経過図（1995 年 1 月 1 日～2008 年 9 月 27 日 12 時現在）

○観測点情報



観測点一覧表 雌阿寒岳（気象庁設置分、緯度・経度は世界測地系）

観測機器	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始 年月
		緯度(度 分)	経度(度分)	標高(m)		
地震計	A点	43 23.7	143 59.2	740	0	1981 年 1 月
	B点	43 22.8	143 58.7	680	-1	2000 年 11 月
	西山	43 23.4	144 00.3	1275	0	2001 年 11 月
	ポンマチ南西	43 22.9	144 00.1	1265	0	2003 年 6 月
	南岳	43 22.2	144 01.0	1096	0	2004 年 10 月
	飽別	43 21.1	144 02.7	803	0	2006 年 11 月
空振計	B 2 点	43 22.8	143 58.4	636	2	2000 年 11 月
遠望カメラ	上徹別	43 15.7	144 06.7	145	4	1996 年 4 月
GPS	オンネトー	43 22.9	143 58.4	636	8	2001 年 9 月
	茂足寄	43 22.9	143 53.7	354	3	2001 年 9 月
	雌阿寒温泉	43 23.7	143 59.0	719	4	2001 年 9 月
	飽別	43 21.1	144 02.7	803	4	2006 年 5 月
	剣ヶ峰	43 23.5	144 01.9	1184	1	2006 年 11 月